

令和元年度 事業報告

はじめに

公益社団法人千葉県労働基準協会連合会(以下、「当連合会」という。)は、行政当局のご指導の下、地区労働基準協会(以下、「地区協会」という。)、関係機関・団体との連携・協力をより深め、千葉県内の労働者が安心して安全かつ健康に働ける職場環境の実現を目指して、積極的、効果的な事業の運営に努めました。また、事業者には「働き方改革の推進」はもとより「安全衛生の最優先」、「現場力の強化」等自主的な労働災害防止活動の充実・強化を図ることを啓発・支援しました。

このため、働き方改革を推進するための啓発事業をはじめ、各種技能講習・教育等の事業や労働問題相談センター事業の運営、千葉県産業安全衛生会議の運営等を積極的に推進しました。また、第13次労働災害防止計画の2年目に当たり、死亡災害を15%以上減少、休業4日以上死傷災害を5%以上減少させるという目標達成にむけて、建設業、製造業、陸上貨物運送業、小売業、社会福祉施設及び飲食店といった重点業種ごとの対策に加え、「STOP! 転倒災害プロジェクト」、「STOP! 熱中症」、KYT、リスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステムの普及を図りました。さらに、「仕事と治療の両立支援」、ストレスチェックを含めたメンタルヘルス対策、過重労働対策、一般労働条件確保対策等の取組みを推進しました。

以上のとおり、当連合会は、千葉県下事業場の労働災害防止をはじめ、適正な労働条件の確保・改善、健康の保持増進等勤労者福祉の増進に寄与するための事業をより一層公益的に推進しました。

I 実施事項

1 安全衛生関係技能講習・教育等の適正な実施

- ① 各種技能講習の適正、円滑な実施に努めました。また、各種安全衛生教育等の内容の充実を図るとともに、計画的な実施に努めました。

令和元年度の講習等の申込者数は、別表「令和元年度安全衛生関係講習等実施状況」のとおり、秋には令和元年房総半島台風(台風第15号)、東日本台風(台風第19号)及び10月25日の大雨による被害での開催中止、冬には新型コロナウイルス感染症の影響による開催中止等により、技能講習(-464名、-5%)、その他講習(-99名、-11%)とも大幅な減少となったが、台風等の影響の少なかった養成講習では大幅に増加(+131名、+20%)となり、総計では大幅減少(-432名、-4%)となりました。

- ② 公益社団法人として、コンプライアンスに留意し、適正な講習等の実施に努めました。
- ③ 技能講習実施管理者、講師の適正配置に努めました。
- ④ 技能講習修了試験問題をテキストの改編等に合わせて見直しました。
- ⑤ 受講者の利便性を考慮して、全ての講習を年2回以上実施しました。
- ⑥ 県内機関で実施がない講習・教育については、受講者が少なくとも、ニーズに応じて実施しました。例えば、安全管理者能力向上教育、第1種衛生管理者能力向上教育、第2種衛生管理者受験対策実践講習などを実施しました。

- ⑦ 第三次産業に係る業種の受講者の増加を図るため、「衛生推進者養成講習」を年4回実施したほか、講習案内を商業、サービス業、社会福祉施設を中心にDM発送しました。その際、第13次労働災害防止計画、腰痛予防、転倒防止等の資料を同封して周知を図りました。

2 労働問題相談センターの活性化

地区協会の協力の下、労働問題相談センターを開設(令和元年10月に東金協会の再開で、計8協会)し、無料相談を実施しました。

地域により相談件数に差があり、令和元年度は全体で279件と前年度より減少しました(平成29年172件、平成30年326件)。

また、相談センター事業が会員サービスや会員拡大に繋がるような観点から、地区協会と連携を図りながら、地区協会のホームページを活用するなど広報に努めました。

なお、個別相談に当たり、引き続き、迅速、丁寧、適切な回答に努め、利用者第一に考えた対応を心掛けました。

3 千葉県産業安全衛生会議の適正な運営

- ① 第1回千葉県産業安全衛生会議(令和元年6月6日)
前年度の事業実施報告・収支決算書、令和元年度の事業実施計画(案)・収支予算書(案)の承認等を審議しました。
- ② 第2回千葉県産業安全衛生会議(令和元年8月30日)
10月21日開催予定の千葉県産業安全衛生大会の運営に関する詳細な打合せをしました。
- ③ 第3回千葉県産業安全衛生会議(令和元年11月13日)
10月21日開催した千葉県産業安全衛生大会の実施結果・収支等の報告のほか、年末年始無災害運動の打合せをしました。
- ④ 令和元年度年末年始無災害運動における安全パトロール(令和元年12月16日)
三井E&S造船(株)千葉工場及び清水・大成・新日本・旭JV施工の「千葉銀行本部棟建て替え計画」工事現場の2か所で、千葉労働局長、労働基準部長ほか千葉県産業安全衛生会議構成員が参加して実施しました。
- ⑤ 第13次労働災害防止計画の周知とともに、死亡災害撲滅のための積極的な広報活動を行いました。

4 千葉県産業安全衛生大会の適正な実施

- ① 令和元年10月21日千葉市民会館にて開催しました。
- ② 千葉労働局長表彰、当連合会長表彰等各種の表彰及び大会宣言等を行いました。
- ③ 特別講演は、宮城学院女子大学学芸学部心理行動科学科教授の大橋智樹先生による「ヒューマンエラーの本質と対策」という演題で、ヒューマンエラーがなぜ起きるのか、どう防ぐのかなどをわかりやすい事例、映像も交えて心理学の立場からの講演が行われました。
- ④ 参加者数は、台風の影響で例年より減少したものの505名でした。

5 千葉県衛生管理者協議会の充実

会員の増強について、当連合会ホームページによる募集のほか、勧誘チラシを衛生管理者受験準備講習、衛生管理者能力向上教育、衛生推進者養成講習など関係する講習・教育時に配布、千葉産業保健総合支援センターなど関係機関での配布などにも努め、平成22年3月の設立から10年を迎え、会員数が200名を超えることができました。

令和元年度第1回の例会は、令和元年8月23日に千葉県経営者会館で約70名が参加し、千葉労働局労働基準部健康安全課渡邊主任安全専門官の挨拶後、千葉産業保健総合支援センター能川浩二所長による「労働衛生の歴史から見た労働衛生活動の現代的意義」と稲垣寛孝労働衛生コンサルタントによる「法改正による働き方改革と産業医・産業保健機能の強化について」と題した講演が行われました。

また、令和元年度第2回の例会は、令和2年2月26日に工場見学を兼ねて「受動喫煙防止」をテーマに開催を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため急遽中止としました。

6 働き方改革の推進

働き方改革を推進するため、一般社団法人千葉県経営者協会、千葉県社会保険労務士会及び当連合会の三者による「働き方改革推進に係る連携協力に関する協定」を平成30年8月6日に締結し、引き続き三者協定に基づき、情報共有やセミナーの協力開催・広報などを通じて県内企業の働き方改革の普及啓発を推進しました。

令和元年10月3日に、連携協定事業として「労働法フォーラム」を京成ホテルで開催しました。3テーマ(同一労働同一賃金への対応、労働時間管理の法律と実務、ハラスメントをめぐる実務対応と近時の法改正動向)について、それぞれ専門の弁護士からの講演が行われ、テーマごとの延べ参加者は300名を超えました。

また、「働き方改革推進相談窓口」を千葉県社会保険労務士会事務所内に開設して広報に努めました。

7 全国労働基準関係団体連合会(全基連)千葉県支部事業の適正実施(受託事業)

① 介護事業場就労環境整備事業

介護事業場の把握、介護整備セミナーを開催(令和元年8月22日、22名参加)、就労環境整備指導員による個別指導を実施(16件)。

② 外国人技能実習制度関係者養成講習

監理責任者等講習、技能実習責任者講習、技能実習指導員講習、生活指導員講習の4コースの養成講習を開催(令和元年8月27～30日、10月7日の5日間、延べ195名参加)。

③ 受動喫煙防止普及事業

令和元年8月30日に他の講習と併せて受動喫煙防止セミナーを実施(20名参加)。

④ 分かりやすい労働条件セミナー(大学生・高校生対象)

高校3校、大学1校の4校でセミナーを実施(令和元年10月31日から令和2年2月14日の間に、延べ510名参加)。

⑤ 働き方改革関連法等読み解きセミナー

令和元年12月20日に千葉市文化センターで、東京大学水町勇一郎教授を迎えて、働き方改革関連法等読み解きセミナー(テーマ：時間外労働の上限規制、年休時季指定、同一労働同一賃金等)を開催(83名参加)。

8 中央労働災害防止協会(中災防)関連事業への参加

(1) 委託共催事業の適正な実施

① 中小規模事業場安全衛生相談事業

中小規模事業場の安全衛生水準の向上に寄与するため、電話、メール、来所等による安全衛生相談を日常的に実施(相談件数110件)、千葉県産業安全衛生大会(令和元年10月21日)当日に、安全衛生相談会を開催(相談件数9件)。

② 経営幹部のための安全衛生セミナー(令和元年6月3日、43名参加)

③ KYT トレーナー研修会(令和元年8月1～2日、11月7～8日の2回、延べ88名参加)

④ 事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修(令和元年9月9～11日、19名参加)

⑤ 安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修(令和2年3月6日新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

(2) 大会等への勸奨、協力

① 全国産業安全衛生大会[京都市](令和元年10月23～25日)

当連合会の賛助会員及び各地区協会の会員事業場から多数が参加するよう勸奨等に努めました。全国で約12,100名が参加し、千葉県からの参加者は270名でした。

② 中小企業無災害記録証

無災害表彰等により、安全衛生活動の底上げにつながるよう制度の周知に努め、令和元年度には、次の4事業場に授与されました。

特殊電極(株) 千葉営業所	金 賞(第五種)
(株)サガワ 東金工場	金 賞(第五種)
高級アルコール工業(株) 本社工場	努力賞(第一種)
中田屋(株) 千葉工場	進歩賞(第二種)

③ 各種広報啓発事業

全国安全週間、全国労働衛生週間、年末年始無災害運動等、中災防が主体的にかかわる事業に対し、広報啓発等を積極的に推進しました。

9 広報の手法、内容の充実

会報「千葉労基連」の掲載内容、当連合会ホームページ等をより見やすい内容にする等随時リフレッシュを図り広報機能を充実させました。

労働災害件数の全産業に占める割合が年々増加している小売業・社会福祉施設等第三次産業の事業者・労働者に対する労働災害防止を喚起するため、DMによる講習案内の送付時に災害統計等資料を同封する等啓発に努めました。

千葉県内における労働災害の減少が鈍化していることから、第13次労働災害防止計画にある労働災害防止対策の積極的な周知を図りました。

10 連合会等組織の基盤強化

- ① 当連合会の賛助会員数は、令和2年4月1日現在 277(前年比-1)と微減しました。
 なお、地区協会は会員の減少傾向が続いており、全体で 5000 となり前年比で 67 減少しました。
 組織の根幹ともいべき会員の長期間にわたる減少に歯止めをかけるべきとの認識に立ち、当連合会、地区協会が連携して会員減少対策に取り組みましたが、減少傾向に歯止めがかかっていません。
 特に、近年、小売業、飲食店、社会福祉施設等の雇用者数の増加に伴い、労働災害も第三次産業で発生する割合が増えていることから、地区協会とも連携し、産業構造の変化に対応した組織対策の取組みの強化が求められており、「入会のご案内」パンフレットを活用し、機会あるごとに配布しました。
- ② 公益社団法人として、安定的に継続的に公益事業をしていく必要から将来的な経費の低減を図るため、事業運営安定化基金取扱規程、講習会館等確保整備基金運用規程、千葉労基連講習会館(仮称)建設計画に基づき、平成30年度決算で生じた剰余金を積立しました。
- ③ 出張講習・安全衛生教育等の要請に応需し、会員サービスや会員拡大につなげていく方針であり、公的施設での出張講習を実施しました。

II 会員の異動状況

平成30年度末 賛助会員数	令和元年度中の異動数						令和元年度末 賛助会員数		
	入会			退会					
278	5			6			277		
地区協会 賛助会員数	千葉	船橋	柏	銚子	館山	君津	茂原	成田	東金
平成30年度末	99	37	37	11	8	24	13	19	30
令和元年度末	100	38	35	11	8	24	12	19	30

III 会議報告

1 定時総会

令和元年5月23日(木) 千葉県経営者会館(議案は全て原案通り承認されました。)

2 理事会

第1回 平成31年4月25日(木) 千葉県経営者会館

第2回 令和元年5月23日(木) 千葉県経営者会館

第3回 令和元年11月20日(水) 東天紅

第4回 令和2年3月19日(木) (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
書面による「みなし決議」としました。)

3 定款等委員会

令和元年9月18日(水) 千葉県経営者会館

4 地区協会事務局長会議

第1回 令和元年8月21日(水) 千葉県経営者会館

第2回 令和2年2月7日(金) (一社)銚子労働基準協会

5 地区協会事務担当者会議(4年ぶりに開催)

令和元年11月18日(月) 千葉県経営者会館

附属明細書

令和元年度(4月～3月) 安全衛生関係講習等実施状況

講習名	協会別	平成30年度 4月～3月A			令和元年度 4月～3月B			前年比 (B-A)				
		申込者数	開催回数	1回あたり人数	申込者数	開催回数	1回あたり人数	申込者数	回数	1回あたり人数		
登録技能講習	特定化学物質及び四酢鉛鉛等作業主任者	連合会	1,815	20	90	1,799	20	89	-16	0	-1	
	有機溶剤作業主任者	連合会	1,934	21	92	1,918	20	95	-16	-1	3	
		柏	67	2	33	74	2	37	7	0	4	
		成田	307	5	61	249	3	83	-58	-2	22	
		東金	28	1	28	17	1	17	-11	0	-11	
	有機溶剤作業主任者 小計			2,336	29	80	2,258	26	86	-78	-3	6
	石綿作業主任者	連合会	323	4	80	275	4	68	-48	0	-12	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	連合会	2,000	20	100	1,800	18	100	-200	-2	0	
		柏	73	2	36	73	2	36	0	0	0	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 小計			2,073	22	94	1,873	20	93	-200	-2	-1
	鉛作業主任者	連合会	91	3	30	89	2	44	-2	-1	14	
	PL機械作業主任者	連合会	161	2	80	164	2	82	3	0	2	
	乾燥設備作業主任者	連合会	304	4	76	322	4	80	18	0	4	
	ガス溶接	千葉	124	6	20	121	6	20	-3	0	0	
		船橋	98	5	19	114	5	22	16	0	3	
		柏	38	2	19	29	2	14	-9	0	-5	
		君津	149	3	49	149	2	74	0	-1	25	
	ガス溶接 小計			409	16	25	413	15	27	4	-1	2
	玉掛け	千葉	428	9	47	263	7	37	-165	-2	-10	
		船橋	167	4	41	154	4	38	-13	0	-3	
柏		129	3	43	94	3	31	-35	0	-12		
銚子		30	1	30	30	1	30	0	0	0		
君津		176	3	58	227	3	75	51	0	17		
東金	39	1	39	54	1	54	15	0	15			
玉掛け 小計			969	21	46	822	19	43	-147	-2	-3	
床上操作式クレーン運転	船橋	36	3	12	38	2	19	2	-1	7		
登録技能講習計			8,517	124	68	8,053	114	70	-464	-10	2	
登録養成講習	安全衛生推進者養成講習	千葉	233	4	58	255	4	63	22	0	5	
		船橋	83	3	27	152	4	38	69	1	11	
		柏	50	2	25	48	2	24	-2	0	-1	
		銚子	16	1	16	13	1	13	-3	0	-3	
		君津	21	1	21	40	2	20	19	1	-1	
		成田	46	2	23	24	1	24	-22	-1	1	
	東金	23	1	23	28	1	28	5	0	5		
	安全衛生推進者 小計			472	14	33	560	15	37	88	1	4
衛生推進者養成講習	連合会	185	4	46	228	4	57	43	0	11		
登録養成講習 小計			657	18	36	788	19	41	131	1	5	
その他講習	有機溶剤作業主任者能力向上教育	連合会	35	2	17	65	2	32	30	0	15	
	安全管理者能力向上教育	連合会	30	2	15	36	2	18	6	0	3	
	第1種衛生管理者能力向上教育	連合会	38	2	19	37	2	18	-1	0	-1	
	局所排気装置等の定期自主検査者講習	連合会	125	3	41	118	3	39	-7	0	-2	
	産業用ロボットの教示、検査等業務の特別教育	連合会	148	3	49	129	3	43	-19	0	-6	
	第1種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	329	5	65	274	5	54	-55	0	-11	
	第2種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	83	5	16	64	5	12	-19	0	-4	
	管理監督者・労務担当者講習	連合会	79	2	39	45	2	22	-34	0	-17	
	その他講習 小計			867	24	36	768	24	32	-99	0	-4
総計			10,041	166	60	9,609	157	61	-432	-9	1	